

参考資料

令和4年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
会 計 管 理 者

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区分	令和4年度	令和3年度	伸び率
予算総額	969,214千円	1,245,363千円	△22.2%
一般会計構成比	0.1%	0.1%	—

【証紙特別会計】

予算総額	16,924,470千円	15,703,361千円	7.8%
------	--------------	--------------	------

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 行政手続きのオンライン化の推進

(1) 各種手続きのオンライン化

P 1 新規 電子契約実証実験等事業【出納総務課】 1,903

(2) 公金収納のキャッシュレス化の推進

P 2 公金収納のキャッシュレス化推進事業【出納総務課】 13,563

電子契約実証実験等事業

担当 出納総務課 財務会計制度担当
内線 5760

1 目的

「立会人型電子契約」について、実証実験等を行い、効果・課題を検証した上で、DXの推進のため、本格実施を目指す。

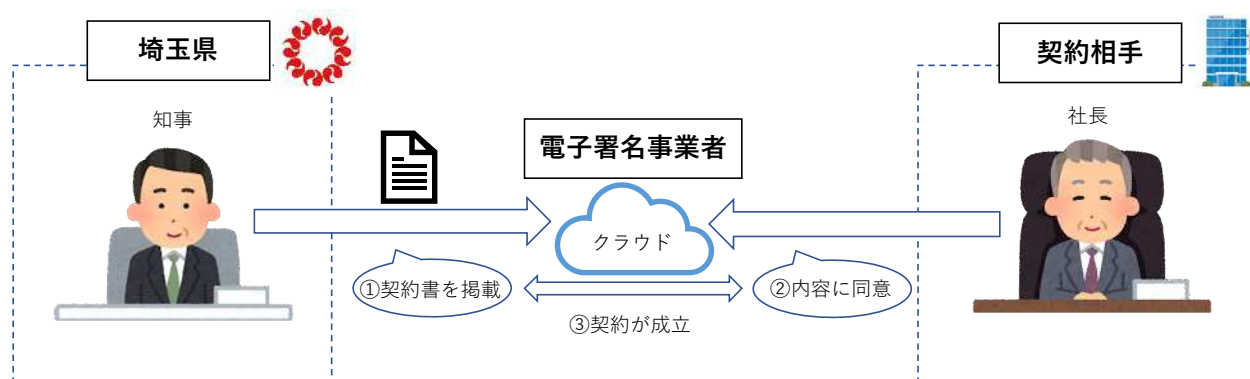
2 事業内容

簡易・低コストで実施できる「立会人型電子契約」について、実証実験等として、まずは小規模に実施し、効果・課題を検証する。

その結果を踏まえ、県民サービスの向上・事務の効率化、さらにDXの推進のため、「立会人型電子契約」の本格実施を目指す。

3 予算額 1,903千円

〔立会人型電子契約のイメージ〕



公金収納のキャッシュレス化推進事業

担当 出納総務課 財務会計制度担当
内線 5739

1 目的

県民や事業者等の利便性向上のため、電子申請システム利用時に、クレジットカードによる支払いを可能とする環境を整備する。

2 事業内容

クレジットカードによる支払データを財務会計システムで処理する改修等を行い、公金収納のキャッシュレス化の環境を整備する。

3 予算額 13,563千円

電子申請システムでのクレジットカード支払い時のフロー

